

事業所名

児童発達支援 はっぴいち

支援プログラム

作成日

6 年

10 月

9 日

法人（事業所）理念	【できないこと】を探すのではなく、【できること】を見つける、【できたこと】が増えることで子どもたちが大きく成長できるようにサポートしていきます。		
支援方針	児童発達支援はっぴいち、お子様一人ひとりに寄り添い、発達に合わせた支援に取り組んでいきます。お子様の様子をよく観察し、またご家族からのお話を丁寧に伺うことで、各ご家庭の個別のニーズに応えることで、お子様やご家族が笑顔で「幸せ」を感じられるサービスを提供いたします。支援は集団で行われますが、その中でも特に必要だと思われる課題については個別に行うことができます。また、平日に通所いただいて練習した成果を、土曜日のイベント時に実践として発揮できるようにしています。		
営業時間	9 時 30 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	着替えや食事、トイレトレーニングなど身辺自立のサポートを行います。楽しい雰囲気の中で自然と「できた！」と達成感を感じられるように支援します。また、活動の中で簡単なお手伝いを経験していただくことがあります。「がんばった！」の経験を積むことで自信につながるように積極的な声掛けをしていきます。食生活への意識を高めるために食育にも力を入れています。自分で食べるものを自分で作ることで食への意識が高まるように支援します。アレルギーへの対応も可能です。	
	運動・感覚	ボルダリングやマット運動などの全身を使う遊びを取り入れ、体の動かし方や体の感覚を把握する経験を積んでいきます。指先の細かな動きに対しても、楽しみながら挑戦できるような活動を進めていきます。また、感覚過敏や感覚鈍麻のあるお子様に対しても適切な感覚入力ができるように支援していきます。	
	認知・行動	学習支援としての机上活動を取り入れています。お子様の興味や課題に合わせて柔軟な課題の提示を行います。また、週に1回程度集団での机上活動を行うことで集団で何かを行う経験や、周囲を意識しながら課題に取り組む経験が積めるように支援します。お子様が外界から受け取る刺激を適切に認識し処理できるように、考え方や思考のパターンにヒントを与えます。	
	言語コミュニケーション	遊びを通して、言語的・非言語的コミュニケーションの方法が身に付くように支援します。また、言葉のゆっくりなお子様に対しても声掛けやかかわり方を工夫し、発語に限らない意思疎通の方法が増えていくように支援していきます。就学準備に向けて文字の読み書きについても、保護者の方のニーズやお子様の興味を受けながら課題を提示していきます。	
	人間関係社会性	集団で活動する中で、他のお子様との適なかかわり方について経験を積めるように支援します。また、感情の調整方法や社会で生きる上で必要となってくるスキルを身に付けるため、SST（ソーシャルスキルトレーニング）の時間を設けています。	
家族支援	適時相談援助を行います。また、保護者の方が休息をとったり、ごきょうだいと向き合ったりする時間を作るためのお手伝いをいたします。	移行支援	事業所から保育所等への移行や、小学校へ就学の際の移行支援などを承っております。
地域支援・地域連携	地域資源を利用しながら、地域に根付いた支援ができるように活動を計画していきます。	職員の質の向上	定期的な研修を行い、職員の質向上に努めます。事業所内研修だけでなく、外部研修の受講も予定しています。
主な行事等	ピクニック、公園訪問、施設訪問（動物園、水族館、市内のお子様向け施設など）、料理体験、節分・ハロウィン・クリスマス等の季節の行事		